

令和3年度1学期始業式 訓話

校長 江川 数司

おはようございます。いよいよ令和3年度がはじまりました。

昨年度末の3学期終業式には1時間の大切さと「考える」ことについてお話しをしました。春休み中は、今自分が何をなすべきなのかを、しっかり「考え」て過ごしていただけましたか。

さて、明日は入学式です。みなさんは式には参加できませんが、新入生には次のことを式辞の中で伝えようと思います。

みなさんのお手元にあるとおり、江津高校は昨年、グランドデザインを完成させました。グランドデザインとは学校教育方針の全体を表したものです。江津高校がめざす学校像は「地域の未来に資する学校」、育成したい生徒像は「自らの成長に挑戦する生徒」としています。ここでいう「地域」とは江津高校がある江津市、あるいは島根県という意味ではありません。みなさんが今活動する場所、あるいは将来活躍する場所、みなさんが大切に思う古里、それはすべて「地域」です。そして、その地域を守る人、支える人、盛り上げる人として成長するのがみなさんです。

そのために「挑戦する」「挑戦できる」生徒になってもらうことを江津高校の育成方針としています。「挑戦する」ことは簡単なことではありません。当然、失敗もあります。しかし、よく考えてみてください。人間は必ず失敗する存在です、挑戦する限りは。やったことがすべて成功するなら、それは挑戦と言えるでしょうか。よく「失敗したくないなら、こうなさい」とアドバイスをもらうことがあります。アドバイスが参考になることはもちろんですが、では「失敗したくないなら、やめなさい」と言われたらどうでしょうか。みなさんには「失敗したくないなら」という発想はやめて「成功させるためには」という前を見つめる姿勢を持ち続けて欲しいと思います。挑戦とは努力によって、また、いろいろな工夫によって失敗を乗り越えようとする情熱を言います。

また、グランドデザインにある「自らの成長に挑戦する」とは新しい自分、本当の自分を見つける挑戦です。それは、人から教えてもらえるものではなく、また、人と比べてわかるものでもありません。みなさん自身の心の奥底から湧きあ

がるものを、みなさん自身がすくいあげ、大切に育てていくものです。そうやって得た経験がみなさんの本物の自信となります。人と比べて勝ったという結果だけの自信は、負ければすぐに崩れてしまいます。ドイツの哲学者ニーチェという人は「誰も見ていないところでも、まっとうな努力をすること、それが最強の自信になる」と言っています。私もそのとおりだと思います。

みなさんが挑戦をあきらめることなく、明日から入ってくる新入生のよき手本として令和3年度を歩んでいくことを期待し、私の講話を終わります。